

■ 組立要領

① 先ず管を直角に切断し、端面の内外バリは丁寧に取除いてください。

② 図2のように管をナットの穴に差し込んで、継手本体の管突き当て部(図1のB部)に確実に当ててください。

【注】BI-LOKはセットの状態での納入されますので、そのまま使用してください。もし分解した場合には図1に示す手順で、方向を間違えないよう管に順次差し込んでください。

管端で継手本体のテーパ面(図1のA部)にスリ傷など付けないよう注意してください。

③ ナットを指でカー杯締めこんでください。この位置をフィンガータイトポジション(F.T.P.)と呼びます。

この状態で、本体、ナットの六角部分にサインペン等で合マークを付します。

④ 図3のように継手本体の六角部分にスパナを掛けて回らないよう保持し、もう一本のスパナでナットを締め込んでください。

⑤ F.T.P(合マーク)からの締め付け量は、図4に示すようにナットの回転角度にして、サイズ1/16～3/16 OD及び2mm～4mmは3/4回転、サイズ1/4～1 OD及び6mm～25mmは1-1/4回転が適量です。

【注】プラグ(DBA)とポートコネクタ(DPC)のみ例外で、サイズ1/16～3/16 OD 及び3mm、4mmは1/8回転、サイズ1/4～1 OD 及び6mm～25mmは1/4回転だけ締め込んでください。

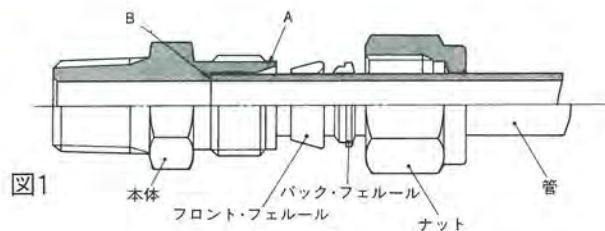
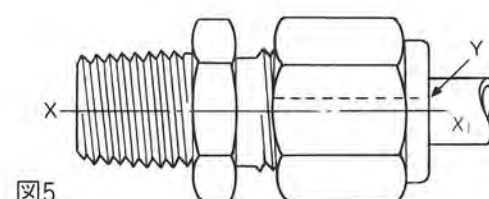
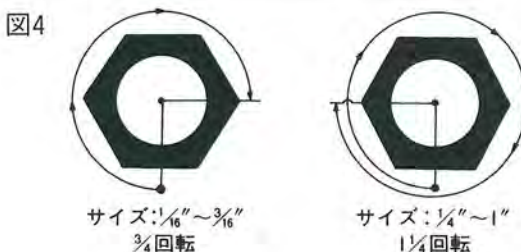
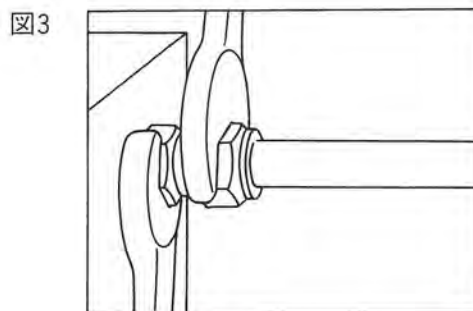
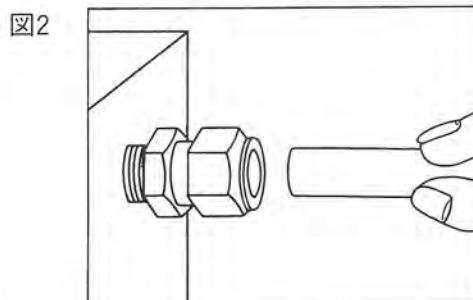


図1 構成部品図



■ 分解、再組立要領

締め付けた継手を分解して再び締め付ける場合には、図5のようにナットをゆるめる前にナットの位置をサインペンで合マークを付けてから、ナットを外してください。

ナットを再び締め付けるときは、合マークの位置(X-X1)よりほんの僅か(Y)増し締めしてください。

これを繰り返すことで管継手の機能を損なうことはありません。当社の繰り返し脱着試験では、厳しい条件で行い、15°の増し締めで25回の脱着を可能としています。

■ インチ、ミリの識別

誤ってインチサイズとミリサイズが混用されるのを防ぐため、容易に識別できるよう、図6のように加工を施しています。



図6

■ 溶接エンド付継手の溶接時の注意事項

溶接時、必ず、ナットフェルールを継手本体から取り外してください。詳細につきましては、営業部までお問い合わせ下さい。

■ ご注文に際して

BI-LOK についてのご照会、ご注文に際しましては、別冊の寸法表記載の型番に拠ってください。寸法表 (Dimension sheet) はインチシリーズ、メトリックシリーズ、スケジュール管シリーズの3シリーズが用意されています。

型番が記載されているものは標準品です。もし、型番が見当たらない場合は、ご希望の寸法について、ご指示戴ければ、若干納期を要しますが製作いたします。

1) 径違いの継手についての表示

間違いを避けるため、下記要領にてご指示ください。図7参照。

- a. コネクタ、エルボのように2個の口径をもつもの。

径の大きなものを①、小さなものを②とし、①②の順で呼びます。

- b. ティーのように3個の口径をもつもの。

同一線上にある径のうち、大きなものを①、小さなものを②、残りのものを③とし、①②③の順で呼びます。

- c. クロスのように4個の口径をもつもの。

最大径のものを①、これと同一線上にあるものを②、残りの2個の内径の大きなものを③、小さなものを④とし、①②③④の順で呼びます。

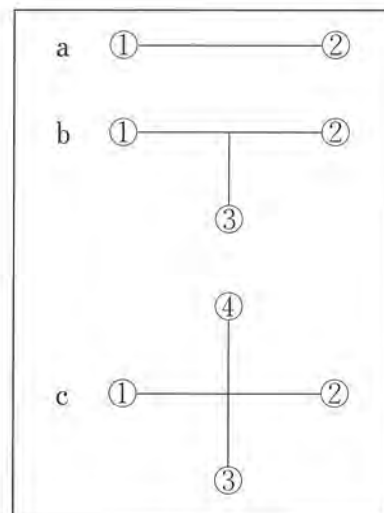


図7

2) 材質の変更について

材質はSUS316ステンレス鋼を標準としています。その他のステンレス鋼のご要望がありましたら、ご相談ください。

黄銅製のご要求には、黄銅製 BI-LOK の寸法表を参照願います。

その他の材質については、ご相談のうえ製作に応じます。

3) 洗浄、潤滑処理の変更について

BI-LOK は極めて広範な産業分野にご愛用いただいています。中でも半導体製造など高純度ガス配管分野では、コンタミネーションを嫌うため、精密洗浄のご要求があります。

こうしたご要望にも、お応えできますので、その旨、お申し出ください。

4) バックフェルールの耐食性向上について

バックフェルールに一層の耐食性をご要望でしたら、R・BI-LOK をご指定ください。

5) 配管色別用ナットのカラリング

配管色別のためナットのカラリングをご要望でしたら、お申し出ください。

6) ご注文方法、組立要領等、ご不明な点がございましたら、最寄りの事業部営業部にお問い合わせください。

■ 使用環境についての注意事項

黄銅製BI-LOK チューブ継手を構成する本体、ナット、及びフェルールの材質は、いずれも黄銅棒（C3604、C3771）を使用しております。銅-亜鉛系合金は、アンモニア、酸素、湿気が共存する環境でのご使用は応力腐食割れを招く恐れが高いためお避けください。また、脱亜鉛腐食を生じ易い海水などの塩類水溶液配管および純水にはご使用しないでください。

BI-LOK 接続 バルブシリーズ

	ニードルバルブ V Bシリーズ サイズ：1/8"～3/4" 6～12mm	ニードルバルブ V Nシリーズ サイズ：1/8"～1/2" 6～12mm	
	30K外ねじバルブ V Qシリーズ サイズ：1/4"～1/2" 6～12mm 1/8～3/4B	微量調整弁 V B Mシリーズ サイズ：1/8"～1/4"	
	ボールバルブ B O 5シリーズ サイズ：1/4"～3/4" 6～16mm B O F Rシリーズ (禁油仕様) サイズ：1/4"～3/4" 6～16mm	ボールバルブ T V Rシリーズ サイズ：1/4～3B 1/4～3/4D 6～16mm	
	火力計装弁 V Zシリーズ サイズ：1/4～1/2B クラス：600～4500	クイックジョイント Q Aシリーズ サイズ：1/4"～1"	
	チェックバルブ C Hシリーズ サイズ：1/4"～1/2"	インラインフィルター I N Fシリーズ サイズ：1/4"～1/2" エLEMENTポアサイズ： 2・10・60 μm	
	ベローズバルブ C V Lシリーズ サイズ：1/4"～3/4" C V Bシリーズ サイズ：10～50A C V Gシリーズ サイズ：15～350A	ダイヤフラムバルブ D V Lシリーズ サイズ：1/4"～1/2"	

複 合 品 お客様の材料費を削減します  特長 継手と継手を一体化することにより省スペース、コストダウンが可能。必要な寸法、形状に合わせて製作致します。	カスタム対応品 お客様の材料費を削減します  特長 必要な寸法、形状に合わせて製作致します。設計工数・材料費・組立工数を削減致します。
efit お客様の工数を削減します  特長 溶接レス（50A以下）で配管が可能です。フルボアにより、流体抵抗の少ない配管が可能。火を使えない場所の配管が可能です。（efit接続ボール弁）	ロング継手 お客様の材料費、工数を削減します  特長 継手とパイプを一体化することにより、省スペース、作業工数の低減が可能。必要な寸法・形状に合わせて製作致します。
ヘッダーバルブ お客様の工数を削減します  特長 バルブと継手とパイプを一体化することにより、省スペース、作業工数の低減が可能。必要な寸法・形状に合わせて製作致します。	ユニット組立 お客様の工数削減、生産性を向上します  特長 設計・部材調達・加工・組立・検査などすべての業務を代行します。



ISO9001、ISO14001認証事業所
高圧ガス設備試験・製造認定事業所 N弁類、N-II継手類認定事業所
TÜVラインランド技研(株)認定工場

イハラサイエンス株式会社

IHARA SCIENCE CORPORATION

- ・東日本営業所／〒140-0014 東京都品川区大井4丁目13番17号（レ・ジュ大井町）
TEL 03-5742-2221（代）FAX 03-5742-2231
- ・山形営業所／〒999-3701 山形県東根市大字東根甲5600-3
TEL 0237-43-7802（代）FAX 0237-43-7803
- ・静岡営業所／〒410-2501 静岡県伊豆市下白岩1251番
TEL 0558-83-2811（代）FAX 0558-83-2802
- ・中部営業所／〒460-0012 名古屋市中区千代田3丁目14番19号（千代田ツカサビル）
TEL 052-323-2627（代）FAX 052-323-2630
- ・関西営業所／〒530-0043 大阪市北区天満4丁目1番18号（ジール大阪ビル）
TEL 06-6358-9255（代）FAX 06-6358-9260
- ・九州営業所／〒862-0913 熊本県熊本市尾ノ上1丁目1番8号メゾン・ド・ソフィア1F
TEL 096-386-5353（代）FAX 096-386-5354
- ・中・四国営業所（イハラパイピングサービス株式会社）
／〒712-8044 岡山県倉敷市東塚1丁目17番20号
TEL 086-455-1811（代）FAX 086-455-1822

■URL：http://www.ihara-sc.co.jp

■本カタログの記載内容は、商品の改良等のため予告なく変更することがありますので、予めご了承下さい

⚠ 注意

継手、バルブ、関連するアクセサリの不適切な選択又は取扱い、人体やシステムに障害・損傷を与える恐れがあります。
システム設計者及びユーザーの責任と権限による判断のもとに、使用されるシステムとの適合性や使用条件を考慮のうえ、継手、バルブ、関連するアクセサリを選定し、適切な取り付け、操作及びメンテナンスを行って下さい。
ご使用にあたり、取扱説明書をお読みいただき内容をよくご理解下さい。取扱説明書がお手元に無い場合及び不明な点は、より事業部営業部にお問い合わせ下さい。